

歴史民俗資料館だより

令和6年9月号 長月 仙台市歴史民俗資料館



〒983-0842 仙台市宮城野区五輪 1-3-7 TEL 022-295-3956 FAX 022-257-6401



参加者募集中！！

講座「くらしの中の電波」

テレビ、スマートフォンなど、私たちのくらしに電波は欠かせません。

身近な電波について学びます。

- 日時： 9月22日（日）13：30～15：00
- 会場： 仙台市歴史民俗資料館 学習室
- 講師： 伊藤 正昭 氏（一般社団法人日本アマチュア無線連盟 東北地方本部 監査長）
- 共催： 宮城県電波適正利用推進員協議会、日本アマチュア無線連盟宮城県支部
- 対象・定員： どなたでも・20名（応募多数の場合は抽選）
- 申込方法： 「往復はがき」または「Eメール（folk muse@deluxe.ocn.ne.jp）」に講座名、氏名、住所、連絡先を明記のうえ、当館までお送りください。
- 申込締切： 9月12日（木）必着
- その他： 入館料が必要です。

開館45周年・建物築150年記念

企画展「通信の変化と人々のくらし」 展示解説



学芸員が展示解説を行います！！

- 日時： 9月14日（土）11時～、14時～ 1日2回
- 内容：本企画展の見所等を、企画した担当の学芸員が解説いたします。30分程度の解説となります。事前申込不要ですので、直接御来館ください。入館料が必要です。

夏休み企画『子ども講座 紙芝居』 好評を博す！！

百束たき子氏が、作成し読み手もつとめるオリジナルの紙芝居上演が、7月27日と8月6日に行われました。

上演作品は、「ぼくたちの学童集団疎開」「仙台の七夕さん」などです。

上演後、参加した皆さんから温かな拍手が送られてきました。百束様、参加の皆様、ありがとうございました。



9月から学校見学（校外学習）が多くなります。

小学校3年生の社会科において、「市の様子と人々の暮らしの移り変わり」を学ぶ単元があります。交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時代による違いに着目して、聞き取り調査をしたり資料で調べたりして、市や人々の様子をとらえ、市や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い移り変わってきたことを理解することがねらいです。

これから学校の利用が多くなり、9月は10校、10月は7校、11月は10校、12月は5校、1月は10校、2月は6校が、校外学習で当館を利用する予定です。子供たちには、バーチャルではない実物の展示を見て、学習課題を追究してほしいと願っています。

小学校だけではなく、中学校、高校、大学、放課後デイサービス等の利用や、社会学級や市民センターの老壮大学等での利用もできますので、是非、御来館ください。



「つつみ人形」

仙台の秋の年中行事 長月（9月）



収穫間近の秋には、農家では最後の豊作祈願が行われ、稲刈り後には収穫感謝の祭りがさまざまにある。また、畑作物の収穫感謝となる十五夜、十三夜のお名月さんも秋の行事である。町場では恵比須講が行われ、奉公人などへのお振舞などがあり、また火を扱う職人の鞆（ふいご）祭りも行われる。

八月一日を**八朔の朔日**（はっさくのついたち）といい、農家では餅を搗いて1日仕事を休む。

立春から数えて**二百十日**には「稲の花が盛りの時」で「荒風吹かないように」と、また、**二百二十日**にも「稲の花がおさまりの時」なのでと、農家では餅を神棚に供える。

十五夜は旧暦の八月の十五日で、農家ではこの月を**マメゲツさん**（豆名月）と呼ぶ。また、茹でた枝豆を一升枥に入れ、井戸桁に載せて備える。（中略）。また、十五夜の月がよく見えると来年は早生の作柄が良いなどともいわれている。

町場では団子とススキなどを縁側に供えて月見をすることが多い。

（参考文献：仙台市史 特別編6「民俗」）

※令和6年の新暦では、以下の月日になるそうです。

二百十日・・・8月31日（土）

八朔の朔日・・・9月3日（火）

二百二十日・・・9月10日（火）

十五夜・・・9月17日（火）